

# 健康・医療産業の発展、 健康社会の実現に向けて

人口減少と少子高齢化が進むなか、関西のポテンシャルをふまえ、関経連は、健康・医療産業の発展と健康社会の実現に向けて「西ビジョン」を策定し、その実現に向けた取り組みを展開している。

世界に先駆けて超高齢社会に突入した日本において、「健康・医療」はこれから発展のカギとなるとともに、持続的な社会を実現するため非常に重要な分野である。

関西には、江戸時代に製薬業で栄えた歴史的背景から、道修町（大坂市中央区）を中心に製薬企業が集積している。そのほか、彩都や神戸医療産業都市、けいはんな学研都市などのバイオクラスターが点在していることに加え、臨床研究中核病院や先進的研究機関、そして介護ロボットや食品、スポーツなどの幅広い業種の健康・医療関連企業が集積している。さらに、国際物流拠点である関西空港や阪

健康・医療分野における  
関西のボテンシャル

**健康・医療分野における  
関西のポテンシャル**

世界に先駆けて超高齢社会に突入した日本において、「健康・医療」はこれから発展のカギとなるとともに、持続的な社会を実現するため非常に重要な分野である。

関西には、江戸時代に製薬業で栄えた歴史的背景から、道修町（大阪市中央区）を中心に製薬企業が集積している。そのほか、彩都や神戸医療産業都市、けいはんな学研都市などのバイオクラスターが点在していることに加え、臨床研究中核病院や先進的研究機関、そ連企業が集積している。さらに、国際物流拠点である関西空港や阪神港もあり、物流の面からも関西は健康・医療分野におけるイノベーション創出のポテンシャルが極めて高い地域といえる。

**国際戦略総合特区、  
国家戦略特区に指定**

このような関西が持つ高いポテンシャルを背景に、関西の6府県市（京都府・大阪府・兵庫県・京都市・大坂市・神戸市）は、「関西イノベーション」への指定に向け、国に対し共同で申請を行った。その結果、2011年に国から総合特区の指定を受け、認定を受けたプロジェクトについては、各種規制の緩和に加え、税制・財政・金融上の支援措置を受けすることが可能となつた。共同申請に際しては、官民による広域的な連携をはかるため、当会と申請自治体が中心となって、当会の森詳介会長が会長に、井戸敏三兵庫県知事が副会長となり、「関西国際戦略総合特別区域地域協議会」を設置した。この協議会は総合特区指定後も、国に対する規制緩和要望について地域の意見を取りまとめるなど、総合特区の実質的な推進役として、その役割を果たしている。また、取り組みの一つとして、医薬品医療機器総合機構（PMDA）の機能拡充を要望し、2013年にはうめきたにPMDA関西支部が設置された。さらに2015年には、日本医療研究開発機構（AMED）の創薬支援戦略部西日本統括部もうめきたに設置され、関西の医療産業の発展に資する基盤が整備された。

2014年3月には、大胆な規制改革を目的とした「国家戦略特区」に関西圏が指定された。関西圏の区域方針では、「医療等の

**国際戦略総合特区、  
国家戦略特区に指定**

①革新的医薬品・医療機器に加えて、新たな突破口である再生医療の開発・市場投入が進むことで関西が日本・世界をリード

②関連産業において、“関西発”的な商品やサービスが日本・世界に次々と展開

③新たな高度医療拠点が形成され各クラスターと連携することで、世界トップクラスの健康・医療基盤となる(→国内外の企業や患者が関西に集まる)

④従業員やその家族等の健康維持・増進による企業の発展(労働生産性や消費意欲の向上)

⑤都市・地方で住みやすい(老いやすい)環境・医療整備が進み、関西が魅力あるまちとして成長し続ける

①～⑤が好循環を形成し新たな成長モデルとしてさらなる飛躍を遂げることで、関西が日本の双発エンジンとしての役割を果たす

## 「関西健康・医療創生会議」の設立

さらに、うめきた2期や中之島4丁目における再生医療国際拠点構想など、健康・医療の視点を取り入れたまちづくりに向けては、健康・医療専門委員会と都市創造・文化観光委員会のもとにある「都市再生・特区専門委員会」とが合同で検討し、関西全体の健康・医療産業の発展につなげるべく、引き続き自治体等に意見発信を行っていく。

A photograph showing several men seated around a long conference table, engaged in a meeting. The man on the far right is standing and speaking, gesturing with his hands. The other men are seated, some looking towards the speaker and others looking down at papers or their laps. The setting appears to be a formal office or conference room.

2015年7月、当会は関西広域連合、大学・研究機関、および他の経済団体とともに、産学官の連携により健康・医療の新たな仕組みづくりやモデルの開発をめざすためのプラットフォームとして、「関西健康

ナードの井村議長からの提案を受け実現したもので、産学官がそれぞれ単独では解決できない健康・医療分野における課題を5つのテーマ（医療情報、遠隔医療、少子高齢社会のまちづくり、認知症への対策、人材育成）に分類した上でそれぞれ分科会を設置し、健康長寿社会の実現に向け、検討を開始した。当会では、経済界の意見を積極的に創生会議の場に提案し、産学官の連携を推進していく。

国際的イノベーション拠点の形成」と「チャレンジ人材が集まる国際都市の形成」等が目標として設定されている。2016年12月現在、24の事業が認定され、医療分野においても着実に成果があらわれている。当会では、さらなる規制緩和等が実現するよう、引き続き内閣府に対して要望を行う。